

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (FAX 兼用) 691-3323
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130 '14年11月9日号
 市会議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp



無いのは財政ではなく市長の気持ち

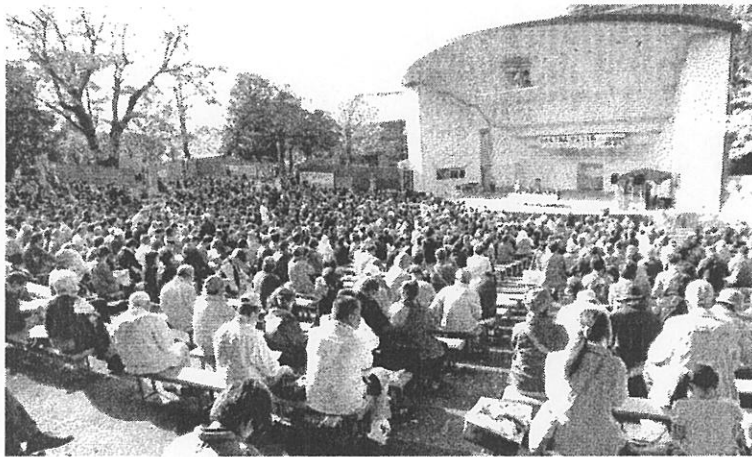
市長が「財政危機」を「理由」として公共料金値上げや施策の切り捨て、市立施設の民間化（市の公的責任を放棄）などをすすめています。井上議員は、市政の責任者なのに「危機」を強調するのは言い訳にすぎない、「危機」打開には、国の、自治体いじめをはじめ大企業減税・庶民増税・軍備拡大の路線の根本的批判が要るのに、その批判と国への運動を避けている限り、市民へのしわ寄せは絶対に認められない、「財政危機」は「理由」ではなく「口実」にすぎない、無いのは財政ではなく、市民の暮らしに心寄せる市長の気持ちではないか、と訴えています。

市長の「財政危機」打開への本気度は！?

4日の市会委員会で、井上議員は、財政危機克服策・市の税収アップへ向け、次のように提案しました。

- 法人市民税の税率を引き上げ、より大きな企業に
- 個人市民税について、○ 株取引等で得た所得にも応分の負担を。

業に自分の負担を（税負担率の低い企業として京セラの名が挙げられている本を紹介）。



平和憲法守ろうと、集会とパレード

11月3日、「生かそう憲法、守ろう9条」とのスローガンを掲げ、集会とパレード。井上市議も参加。歌や踊り、戦没者遺族のお話、記念講演、若者の主張など多彩な企画。集会終了後、市役所前までパレード。（写真は円山音楽堂）



児童館学童保育関係者の皆さんの、やんちゃフェスタ（10/25、梅小路公園）

ゴミ袋代の値下げを

○ 一律6%の税率を所得の多少に応じた応能負担に累進制にした上で、富裕層には応分の負担を。

↓しかし部長答弁は、あれこれと税金の解説をす

市民が払っている袋代は19億円前後（下の表の①）。そのうち、製造・保管などの費用は僅か5



南区老人クラブ連合会文化芸能祭（10/28）



億円余り、袋代の3割前後で済んでいます（②）。残り14億円弱は、「まちなみや温暖化対策等」の名目で「財源活用」され（③）、花の道づくりなど、他の一般施策に「流用」されています。

井上議員は、「袋代は3分の1に値下げできる計算だ。流用されている他の施策は、本来、一般財源で賄うべきもの。税

るだけで、国への要望も腰が座らず、財政危機打開の本気度は極めて低いということが、改めて明らかになりました。

※ その他、危機打開への井上議員の提案については、議会報告特集号「本当にお金は無いのか!？」を参照して下さい。お届けします。

ゴミ袋代合計①と、袋製造費用②。③は余ったお金を他の事業に使っている金額

	① ゴミ袋代収入	② 製造等経費 ②/①	③ 「財源活用」 ③/①
2009年度決算	18億72百万円	7億31百万円 39.0%	11億41百万円 61.0%
2010年度決算	19億12百万円	5億62百万円 29.4%	13億51百万円 70.6%
2011年度決算	19億18百万円	5億45百万円 28.4%	13億73百万円 71.6%
2012年度決算	18億91百万円	5億43百万円 28.7%	13億48百万円 71.3%
2013年度決算	19億21百万円	5億43百万円 28.3%	13億78百万円 71.7%
2014年度予算	18億84百万円	7億10百万円 37.7%	11億74百万円 62.3%

金の二重取りだ」等々と追及されています。市は「負担を感じてもらってゴミを減らす動機付けにした」といなど、いわば、払うのがイヤならゴミを減らすと言わんばかり。市民をバカにしています。